

哉

飯ヲ供御略○中 御菜ヲバヲメグリト云常ニヲマハリト云ハワロシ○中

毎日三度ノ供御ハ御メグリ七種御汁二種ナリ御飯ハワリタル強飯ヲ聞召ナリ

〔簾中舊記〕御よめいりの時の事

一御はんには御かはらけにてぐごは参り候つる是がほんにて候三年すまては御ごきにて参り候

〔於路加於比下〕小兒語

嬰兒の語に○中 飯をまといふはうま／＼の上言の省かれたるにて美味の意也乳母をま、と稱も飯と同語にて乳をも美味といへる也○下

〔伊呂波字類抄〕類須飲食次飯スキイヒ

〔延喜式〕大炊十五中宮雜給○中 女藏人日米一斗三升、御膳宿采女飯日米五升、次

〔江家次第〕二十執事

出下飯方出居次夜陪膳如此

〔延喜式〕大炊十五中宮雜給略○中 御厨子所米八升、膳部六人日米四升八合、破飯一斗二升、料、女孺四人日米三升二合、破飯八升料

〔延喜式〕大炊十五平野祭料夏冬並同

雜給米五石八斗九升磨飯一石一斗五升平飯二十三石、料但夏冬祭米五石三斗二升

春日祭料亦同

雜給米七斛磨飯十三石五斗平

大原野祭料

米七斛磨飯三石七斗五升料